

専門学科 農業	研究協力員 大城 匡司 県立中部農林高等学校	科 目 林産物利用 単元名 製材・科目と木工
主 題 名	木 工 ～レーザ加工機を活用したプレート製作～	
単元のねらい	製材・加工と木工について、その在り方が我が国の森林・林業に大きな影響を与えていることを捉えることができるようにすること。	
単元の評価規準	知識・技能	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	森林の効用や必要性について理解することとで、資源の有効活用を目指したもののづくりを行うことができる。 ア 木材の種類や性質を理解し、状態に応じた加工を行う事ができる。 イ 木材加工に関する適切な技術が身に付いている。	林産業の利用について自ら理解を深め、ものづくりを行うことで資源の有効活用について考えることができる。 ア 木材に適した加工作業に取り組める。 イ 課題に対しての対策方法を見いだす活動ができる。
学習活動に即した評価規準	(1) 乾燥や保存方法を習得するため、木取りを学習する (2) 木加工の技術を習得するため、レーザ加工機による加工を行う	(1) 学校で活用できるデザイン作りに取り組む (2) 作成した木工品に関する用途を検討し、意見を発言する
生徒実習【特別装置の活用】	素 材「竹・木」	オリジナル素材データ
作製教材		



専門学科

工業

研究協力員

高橋 朋正

県立浦添工業高等学校

科目

工業技術基礎

単元名

加工技術

主 題 名

電子回路の製作 ～UVプリンターを活用した電子回路製作～

単元のねらい

加工技術について、材料の形態や質を変化させる視点で捉え、科学的な根拠に基づき日常生活に関わる身近な製品や先端的な技術やその製品について関連付けて考察し、体験的・実践的な学習活動を行うことを通して、工業の諸課題を適切に解決することに必要な基礎的な力を身に付ける。

単元の評価規準

知識・技能

電子回路の構成に必要な材料についての知識を持ち、工具や機器を適切に扱うことができる。

ア 素子の取り扱いに関する知識を身に付けることができる。
イ 安全に配慮し適切に工具や機器を扱うことができる。

思考力・判断力・表現力等

電子回路の基本的な動作を科学的な根拠に基づいて考え、制御技術を生かすことができる。

ア 素子の科学的特性に基づいた諸元・定格を知り、適切に扱うことができる。
イ 工具や材料についての知識を持ち、適切に取り扱うことができる。
ウ 配線に沿った材料の配置が表現でき、加工順序を適切に判断することができる

主体的に学習に取り組む態度

様々な電子機器の中で電子回路や素子がどのように生かされているかを考え、工業技術に生かそうとすることができ

ア 電子回路が生活で用いられる場面が想定でき、回路の動作と役割を関連付けることができる
イ 素子の役割について理解しようとして取り組んでいる。
ウ 電子回路の基本動作について説明することができる。

生徒実習

【特別装置の活用】

作製教材

素材「基板」

回路データ

製作物：「変調回路」 （下は完成品）

専門学科 商業		研究協力員 仲田 博道 県立具志川商業高等学校		科目 総合実践 単元名 分野横断的・総合的な実践	
主 題 名		販売ターゲットに向けた商品デザイン ～UVプリンターでデザインを形にする～			
単元のねらい		ビジネスの実務に適切に対応し、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにする。			
単元の評価規準		主体的に学習に取り組み態度			
評価規準	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		ビジネスの実務に	
		対応する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組み態度を養う。			
学習活動に即した 評価規準	商業の各分野について実務に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	ビジネスの実務における課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。		ビジネスの実務に	
		対応する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組み態度を養う。			
生徒実習 【特別装置の活用】	市場分析について理解し、実際に手順にしたがって、調査ができる。	市場調査による分析（思考）による消費者の実態やニーズを判断することができ、商品デザイン等の表現を行うことができる。		チームで協力して主体的に市場調査に基づいた考察に取り組みすることができる。	
		グラフィックソフトの機能における効果的な活用を行い表現ができる。			
生徒実習 【特別装置の活用】	市場調査を行うため、環境分析（経済・技術・消費）を学ぶ (2) 商品コンセプトとデザインを作成するためのソフトとUVプリンターを活用する	(1) 具商データの消費者の実態とニーズを分析し、デザインを作成する (2) 商品デザインの完成を目指し、ソフトウェアの機能と効果を活用する		消費者のニーズに沿った紙袋の完成を目指して、UVプリンターの活用に取り組みすることができる。	
		(1) 商品提案シートを検討し、商品の企画書の作成に取り組む (2) 協働して取り組み、商品の完成を目指す。			
作製教材		素材「紙袋」		商品：「具商袋」	
		オリジナル素材データ			
		+			
		↑			



専門学科 情報		研究協力員 長堂 忠司 県立美来工科高等学校		科目 単元名 コンテンツの制作と発信 静止画のコンテンツ	
主 題 名		ノベルティグッズ制作 ～レーザー加工機・UVプリンターを活用したノベルティグッズ制作～			
単元のねらい		静止画のコンテンツの表現や編集に関する知識と技術を身に付け、静止画のコンテンツに関する課題を発見、解決する力を養うとともに、静止画のコンテンツ制作に取り組み意識と意欲を高めることができるようにする。			
単元の評価規準		主体的に学習に取り組み態度			
評価規準		(1) 静止画コンテンツの制作を目指して自ら学ぶことができる。 (2) 静止画コンテンツの制作と発信に主体的・協働的に取り組むことができる。			
学習活動に即した評価規準		ア 自らの学習を客観視し、その長短を把握するとともに、改善点を洗い出しているか。 イ 自らの改善すべき点について粘り強く克服する取り組みを行うことができる。 ウ 周囲と協働的な取り組みを行うことができる。			
生徒実習【特別装置の活用】		(1) ノベルティグッズに対する改善と克服に、個人で取り組む (2) 自己評価と相互評価による学習の振り返りを協働的に行う			
作製教材		素材「アクリル」		オリジナル素材データ	
		+		↑	
					
					